

中塚大々夫 なかづか たつとむ 俳人。明治十六年五月一日岡山縣土爲生れ、昭和

五十二年二月五日歿（八十三）九七六）。本名均雄。前號銀波。中塚一碧樓の兄。早稲田大學商科を中退して歸郷、岡山市で玩具店を営んだ。

傍ら俳誌『自由俳句』を創刊編輯、爾後『試作』、『海紅』等將に弟一碧樓と歩みを共にし、弟歿後と絶えず句作、定型・自由律共に作つた。へ鳥一羽秋雲のそひ遠がこめろく。

